

海洋マイクロプラスチック汚染問題と生分解性プラスチックの世界的な動向

講師：小松 道男氏（小松技術士事務所・所長）

石油由来プラスチック製の使い捨てストローによる海洋汚染報道がきっかけとなり、マイクロプラスチック問題が世界的に大きな課題として急浮上し、ECヨーロッパ委員会は2025年までに非分解の使い捨てプラスチック製品の使用禁止の方針等を次々と打ち出してきています。それに呼応するようにスターバックス、マクドナルド、IKEA、日清食品等が生分解性素材の採用を発表するに至っています。本年6月下旬に開催されたG20大阪サミットでは日本が中心となって海洋プラスチック汚染関連条約をEU、米国、中国、ロシア、インド、ASEAN等へ提唱し合意へ導いています。しかし、マイクロプラスチック問題の正確な報道や実用に耐え得る生分解性プラスチック製品の情報は不十分で、ブームに乗じた物性に重大な課題が残る製品の流通が始まるなど混迷した状態にあると言えるでしょう。

本セミナーでは、生分解性プラスチックの実務的な射出成形技術の世界的第一人者の一人である小松道男氏を迎え、同氏が15年に渡りフランス、ドイツ、アメリカ等で実際に収集した貴重で信頼性の高いデータや写真、サンプル等に基づいて、マイクロプラスチック問題の本質と課題、生分解性プラスチックやバイオプラスチック製品の開発事例、世界各国の法規制の動向等を解説します。本年10月に開催された世界最大のプラスチックショーK2019における欧州プラスチック業界の最新動向もご紹介します。

【講師経歴】 国立福島工業高等専門学校機械工学科首席卒業、アルプス電気(株)勤務、平成5年 小松技術士事務所設立、所長就任、一般社団法人日本合成樹脂技術協会理事・特別会員、独立行政法人国立高等専門学校機構福島高専非常勤講師（知的財産権）、フランス共和国ロース・アルプ州クラスター親善大使、JICA 金型プロジェクト国内支援委員、JETRO 貿易開発部専門家等を歴任、昭和58年 日本機械学会島山賞受賞、平成29年度文部科学大臣表彰・科学技術賞（技術部門）受賞、平成2年 技術士第二次試験史上最年少合格（27歳）平成24年 LAUNCH:BEYOND WASTE Forum Innovator of Innovators 受賞（米国内務省、NASA、米国内閣開発局 NIKE 主催。米国ベンチャー企業 Co-Founder として）、平成29年度文部科学大臣表彰・科学技術賞（技術部門）受賞、平成30年第7回ものづくり日本大賞内閣総理大臣賞受賞。安倍首相よりもものづくり名人の称号を授与される。バイオプラスチック成形技術等の特許発明 280 個保有 **【所属学会】** 公益社団法人日本技術士会フェロー、一般社団法人プラスチック成形加工学会会員、一般社団法人型技術協会会員、Society of Plastics Engineers (USA) 会員 **【著書】** 「事例でわかるプラスチック金型設計の進め方」（日刊工業新聞社）、著書、専門誌・新聞記事等の著作多数

開催日時	2019年12月17日(火) 13:15~16:15	【会場】	ちよだプラットフォームスクウェア 5F 会議室 〒101-0054 東京都千代田区神田錦町 3-21
受講料	46,000円 + 税 ※資料付 * メルマガ登録者 41,000円 + 税 * アカデミック価格 24,000円 + 税		

*アカデミック価格：学校教育法にて規定された国、地方公共団体、および学校法人格を有する大学、大学院の教員、学生に限りです。

★【メルマガ会員特典】2名以上同時申込で申込者全員メルマガ会員登録をしていただいた場合、2名目は無料、3名目以降は半額です。

★【セミナー対象者】生分解性プラスチック製品の企画・開発担当者、バイオプラスチック製品の企画・開発担当者、プラスチック射出成形品の企画・開発技術者、プラスチック射出成形金型開発の実務担当者 ★【セミナーで得られる知識】①生分解性プラスチックとバイオプラスチックの正確な特性や知識、②海洋マイクロプラスチック問題の正確な理解、③バイオプラスチックの世界的な最新開発動向、④バイオプラスチックの世界的な法規制の動向、⑤バイオプラスチック製品の先行開発事例（ヨーロッパ、日本）、⑥実務的な生分解性プラスチック製品の射出成形技術、実力、コスト競争力

【本セミナーのプログラム】

※適宜休憩が入ります。

第I部 海洋マイクロプラスチック汚染問題の正確な理解

1.1 マイクロプラスチックとは？/1.2 マイクロプラスチックが及ぼすリスク/1.3 マイクロプラスチックが発生する原因/1.4 生分解性プラスチックはマイクロプラスチックにならないか？

第II部 生分解性プラスチックとバイオプラスチックの正確な知識

2.1 プラスチックの70年の歴史的レビュー/2.2 石油由来プラスチックと植物由来プラスチックの相違点/2.3 非分解性プラスチックと生分解性プラスチックの相違点/2.4 生分解性プラスチックの認定基準/2.5 バイオプラスチックは生分解性プラスチックなのか？/2.6 生分解性プラスチックの主な種類と特徴/2.7 生分解性プラスチックの生分解に要する時間/2.8 生分解性プラスチックは海洋で生分解するのか？

第III部 世界各国のプラスチック廃棄物に関する規制の動向

3.1 EUヨーロッパ連合/3.2 フランス/3.3 英国/3.4 インド/3.5 米国

第IV部 バイオプラスチック製品と生分解プラスチック製品の事例

4.1 ポリ乳酸シート真空成形品/4.2 ポリ乳酸厚肉射出成形品/4.3 耐熱ポリ乳酸射出成形品/4.4 ポリ乳酸薄肉射出成形品/4.5 ポリ乳酸超臨界微細発泡射出成形品/4.6 セルロースファイバー/ポリ乳酸射出成形品

第V部 日本政府のバイオプラスチック推進に関する施策の動向

5.1 環境省/5.2 経済産業省

◎上記テーマは、動画や画像の編集の都合上、順不同となりますため、予めご理解をお願いします。

弊社記入欄		セミナー申込書			
セミナー名		海洋マイクロプラスチック汚染問題と生分解性プラスチックの世界的な動向			
所定の事項にご記入下さい メルマガ会員、登録希望の場合は○↓		会社名（団体名）	TEL :		
		住所 〒	FAX :		
			E-mail :		
会員登録済み	新規登録希望	部署	役職	氏名	
お支払方法		銀行振込 ・ その他		お支払予定	2019年 月 日頃

■申込方法：セミナー申込書にご記入の上 FAX または E-mail(re@cmcre.com)でお申し込みください。

■セミナーお申込み後のキャンセルは基本的にお受けしておりません、ご都合により出席できなくなった場合は代理の方がご出席ください。

■申込先：(株)シーエムシー・リサーチ 東京都千代田区神田錦町 2-7 TEL 03-3293-7053

■本セミナーの関連情報は、弊社HPでもご覧になれます。⇒ <http://www.cmcre.com>

参加申込 FAX 番号
03-3291-5789